



王上御日本國大藏大臣

大隈參議殿
伊藤參議殿

且欲事以志道



存正

本便ヲ以テ別紙内信之通外務ノ
 報上仕置ス間仍向志合之為ソ
 右抄出送呈仕ス也

明治十三年十月六日

大藏内信外田拾三號

大隈正
伊藤
千四
月



外字内信ハ拾号

家

録事報告

○清廷謀議之景况

去月廿九日頃天津通信者之來告ト題ニ記載致
 居候所、因ハ北京ノ主戰黨ハ尙未ク安頓スルニ到
 ラス動モスレハ俄國ガ今要求スル事、償金ハ實ハ非
 常ナルヲ以テ之ヲ償フヨリ寧ルニ戦ニ決スヘシト主張
 スル者ナリ而シテ清國政府ハ尙今ハ兵勇ヲ招
 募シ難ク之ヲ滿州各地ニ分ルセリ故ニ能ク其
 清官ノ云フ意ヲ聞クニ從前償金ヲ外國ニ出セル
 ハ屢シノ事ニテ曰ク竟清國ノ兵力持ハ不足リ
 スト自認セリ元來歐米各邦ニ比スレハ頗ル僅少
 ナリトス故ニ後今度之一戰、現役セザルモ

又々清俄之難事、毎々、到ルモ到底、益々ノモノ、
カウサレハ及ツ丈、勇集ヲ為シ不意、難事、充ル
預籌、出ツヘシト、内決タルカナリ

○俄京來電之一説

八月下旬、歐洲ヲ登シタル、邦報之傳來、新聞
ニ因リ、俄廷ヨリ清廷ニ、欽差大臣ヲ簡派シ北京ニ
於テ再議セトスルハ、元々清廷政府ヨリ要求セシ
事、コレヲ俄廷政府ハ今度遂々之ヲ謝却シタリ
依之、曾紀澤ハ北京ニ電信ヲ送テ、俄京ニ於テ
開議スヘキ全權ヲ得ントス

○北京ニ於テ大會議ヲ開キシ事

白宮大臣官ハ、以來久病氣、漸ク左杖
ニ至リ去月十六日、軍機處ニ臨御セラレ親王蒙

及ニ六部諸大臣並ニ、崇厚ニ會議シ、決リ竟リ、
シヤ、條約ヲ遵行スルノ主意ヲ以テ仲裁、委ニ
ル事、決シタリト云人候、仲裁人ハ李鴻章
ト現今北京ニ在ル各國公使之内一人ヲ撰ム
ト云聞候

上諭、因リ惺醇兩親王各軍機大臣六部尚
書並ニ、張之洞ヲ加ヘ去月廿二日、大集議ヲ開キ
タル旨、テ備、俄廷ノ談判ヲ議セシ、世世議
事、固ヨリ極機密ニシテ他、世世議、ト云フ

○清廷兵備之事

去月二十日、天津ノ廣島丸ヨリ早合、彈丸五百餘ヲ
元ト奉呈ヨリ載來セシ由、テ本港ニ運到セリ
今度山海關、搭載改入兵員、二十名、地持

三名賄方一名當タル由に有之候

○俄國兵備之事

コロヒセル俄軍艦ヲラストリス等並、ステレロツク号
ノ二艘ハ噸數千三百三十四トシ海員百六十五名大砲七門
ヲ載ス由既、去月十六日、聖士、坡港、泊署セシ
方、大尉候

コルウエツト敷マスコルト船ハ八月十日南洋海に向テコルス
ヌタツトリ世段輪セリ由船ハ專ラ各種ノ兵器食物
等ヲ載運シ來ルトノ傳役アリ

右之段依旧報上付ス也

明治十三年十月六日

外務省事務司志遠

外務省井上毅殿